

(伊)デロンギ社製 オイル密閉式ラジエーター型ヒーター
デロンギヒーター[ハイブリット型]



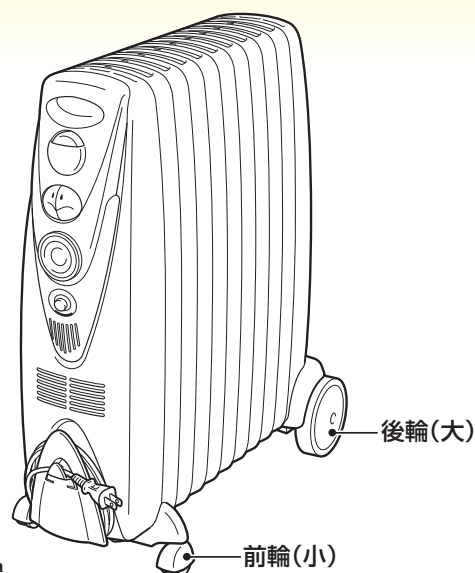
取扱説明書

型式番号

HG010915E

●9枚フィン：L字型 ●1500W :1100W+400W(側面IHSヒーター) ●24時間電子タイマー付

この度は、デロンギヒーターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
お求めの製品を正しく安全に使用していただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。



Made in China

もくじ

・安全上のご注意	1～5
・知っておいていただきたいこと	6
・ヒーターの上手な使い方	6
・各部の名称とはたらき	7
・操作手順：暖房のしかたは2通りあります	
(I) 手動運転	8
・電子タイマーのしくみと使い方	9
(II) タイマー運転	10
・故障かな?	11～12
・お手入れ／保管のしかた	13
・真心点検について	13
・これは故障ではありません	13
・デロンギ・エコカバーの使い方	14
・アフターサービス	14
・仕様	裏表紙

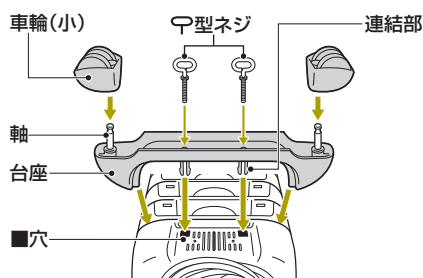
前輪・後輪の取付け方



【ご注意】 本体が倒れる恐れがありますので、必ず付属の緩衝材（発泡スチロール）をつけた状態で行ってください。

前輪の取り付け

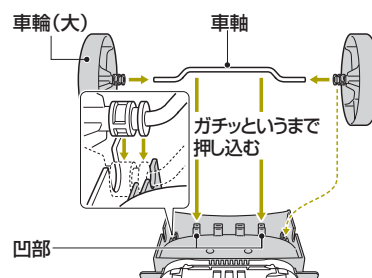
- ①車輪（小）を台座の軸に奥までしっかり押し込みます。
- ②連結部を手前にして、■穴に差し込みます。
- ③ㄎ型ネジを台座の穴に入れ、しっかり締めます。



車輪を取り付けた後は、本体をゆっくりと起こし、緩衝材および保護シートを取り除いてください。

後輪の取り付け

- ①車輪（大）を車軸に奥まで押し込みます。
- ②車軸をJ型にして、ガチッというまで凹部に押し込みます。このとき、両車輪の根元部分も必ず正しい位置に取り付けてください。



安全上のご注意

各注意事項を、必ずお守りください。

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の三つに分け、明示しています。

⚠️ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。

⚠️ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠️ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

4. 各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示が付いています。



：発火注意



：感電注意



：高温注意



：禁止行為



：分解禁止



：強制／指示



：電源プラグをコンセントから抜く

電源について

⚠️ 警告

- 電源は、家庭用交流 100V／50/60Hz をご使用ください。
- 電源は、「15A 125V」と記されている壁面のコンセントから直接お取りください。

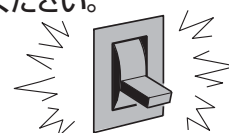
15A 125V



⚠️ 注意

- ヒーターを運転中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、お近くの電力会社にご相談ください。

※詳しくは、6 ページ「知っておいていただきたいこと」を参照してください。



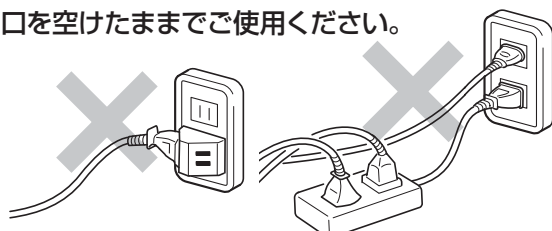
コンセントについて

⚠️ 警告

- 延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは、絶対に使用しないでください。

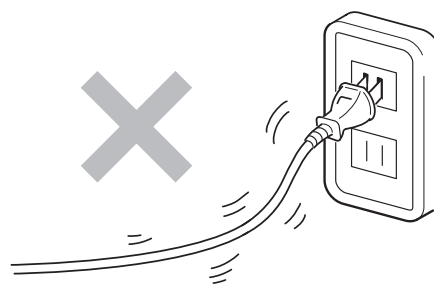
コンセントや電源プラグ／電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。

- コンセントは本製品だけ（単独）で使い、差し込み口が2つある場合は片方の差し込み口を空けたままでご使用ください。



- 取付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差し込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。

感電や発熱の恐れがあります。

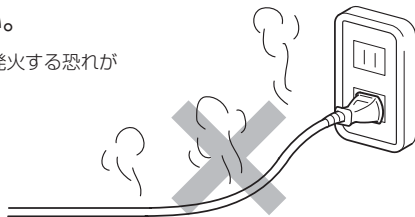


電源プラグ／電源コードについて

警告

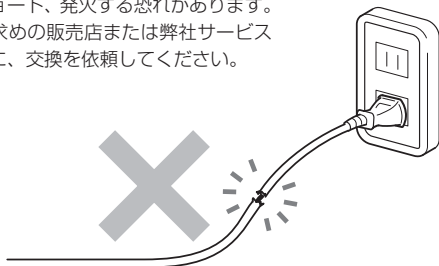
- ヒーターの運転中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電力切替えスイッチで電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）に、電源プラグ／電源コードの交換を依頼してください。

ショートや発火する恐れがあります。



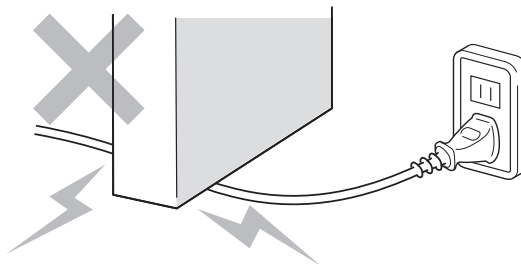
- 傷付いたり、変形・破損している電源プラグ／電源コードは、絶対に使用しないでください。

感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンターに、交換を依頼してください。



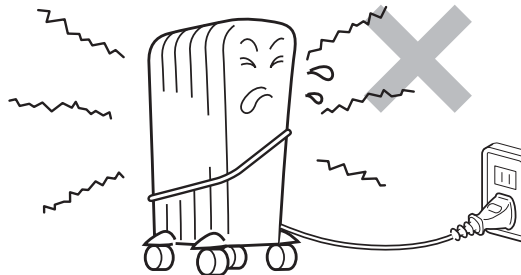
- 電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、傷をつけないでください。

感電やショート、発火などの原因になります。



- ヒーターの運転中は、電源コードが本体に触れないようにしてください。

熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。



注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



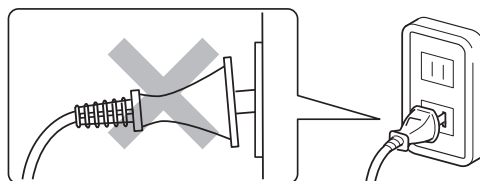
- 濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。

感電する恐れがあります。



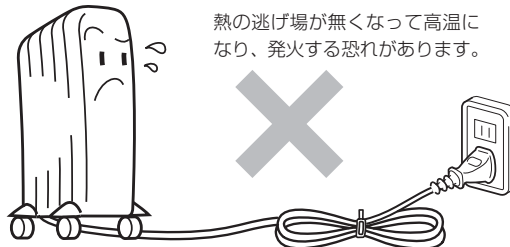
- 電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。

不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。



- 運転の際は、電源コードをコード・ホルダーから解き、余っても束ねないでください。

熱の逃げ場が無くなって高温になり、発火する恐れがあります。

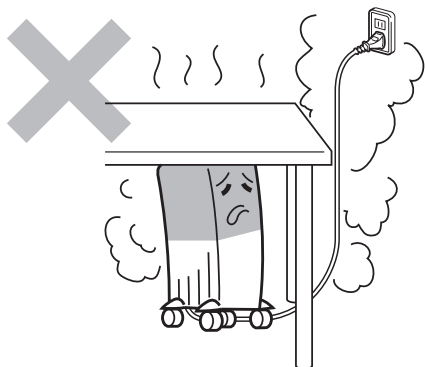


設置場所について

⚠ 警告

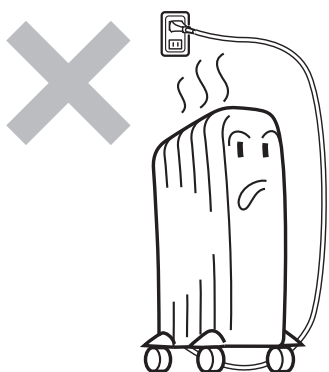
- テーブルや机の下でのご使用は、お止めください。

ヒーターの上部をふさぐと、空気の対流ができず高温となり、火災やヤケド、故障などの原因になります。また、ヒーターの熱で電源コード／電源プラグやコンセントが変形・変質し、出火する恐れがあります。



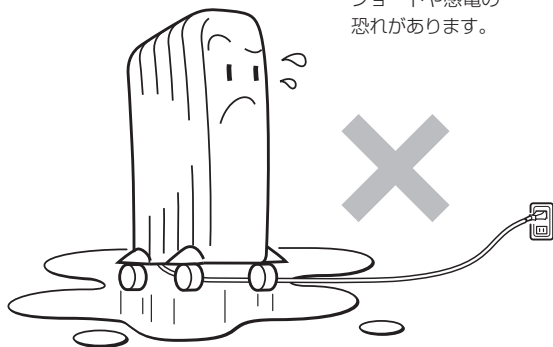
- 電源をとるコンセントのすぐ下での使用は、お止めください。

暖気で電源コード／電源プラグが変形・変質し、故障などの原因となります。



- 屋外や水／湿気の多い場所（部屋）での使用は、お止めください。

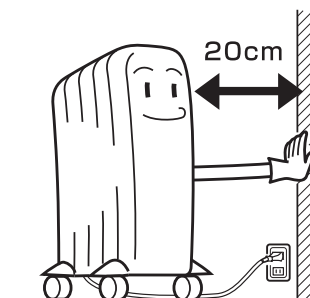
ショートや感電の恐れがあります。



⚠ 注意

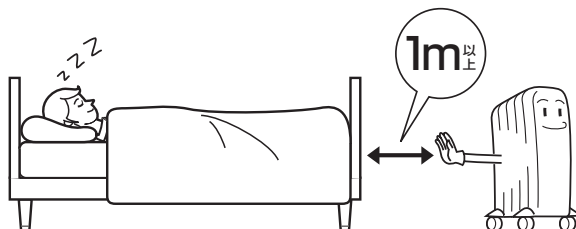
- 壁や電源をとるコンセント、カーテンなどからは、20cm 以上離してください。

材質によっては、ヒーターの熱で変色／変質する恐れがあります。



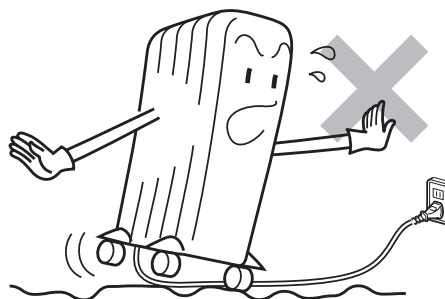
- 人や家具などからは、1m 以上離してください。

オイルラジエーターヒーターを寝室でご使用される場合、寝起き時の転倒事故防止、寝具への接近を考慮して約 1m 以上の距離を取ってください。



- 毛足の長い絨毯や凹凸のある床は避け、平らな床に置いてください。

ヒーターが倒れるとケガや事故の恐れがあります。



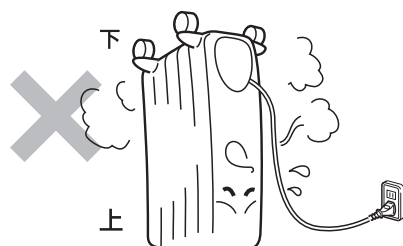
使用する際の注意

警告

- 車輪は、本体底部の所定の位置に正しく取り付けてください。(表紙参照)

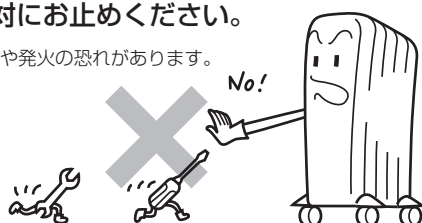
- 逆さまや横倒し、立てかけてのご使用は、絶対にお止めください。

火災や故障などの恐れがあり、危険です。



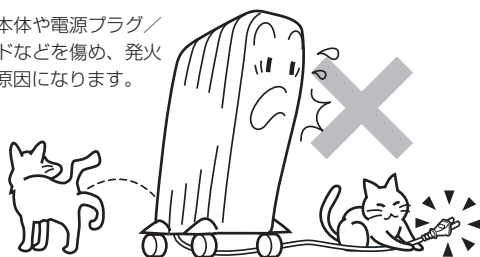
- 本製品を分解したり、改造することは、絶対にお止めください。

故障や発火の恐れがあります。



- 猫や犬など、ペットの暖房に使用しないでください。

ペットが本体や電源プラグ／電源コードなどを傷め、発火や故障の原因になります。



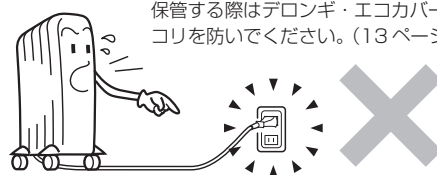
- 本体を覆うように布団や毛布などをかけたり、濡れたもの（洗濯物など）の乾燥に利用しないでください。

過熱により、火災や故障などの恐れがあります。



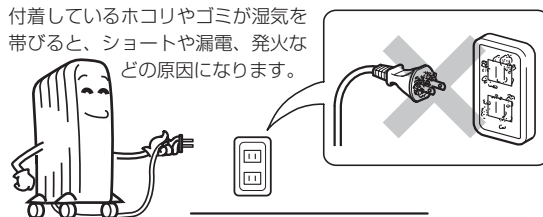
- 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

誤って、電源が入る恐れがあります。収納・保管する際はデロンギ・エコカバーでホコリを防いでください。(13 ページ参照)



- 定期的に、電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミを掃除機などで取り除いてください。

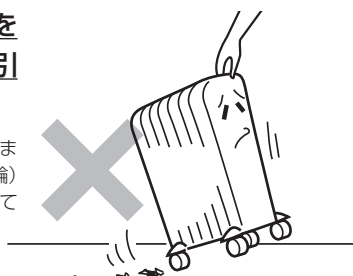
付着しているホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



注意

- ヒーターの移動は、必ず本体が冷えてから行なってください。また、本体を持ち上げず、取っ手を持ちゆっくりと引いてください。

床面が傷つく場合がありますので、必ず車輪（全4輪）を床面につけて、移動してください。



- ラジエーターのすき間などに、異物を入れないでください。

発火や故障の原因になります。

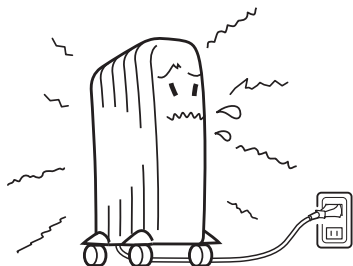


運転中の注意

警告

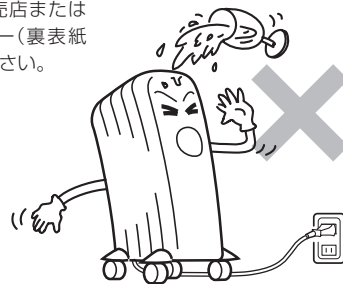
- 万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り（＝運転停止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご連絡ください。



- 本体や操作部（電力切替えスイッチ、タイマー、サーモスタット）に、水やジュース（液体）などをこぼさないでください。

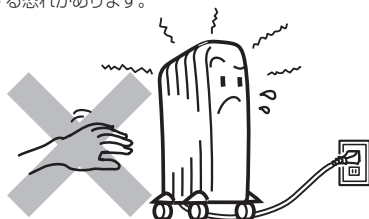
万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を停止します。その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご連絡ください。



注意

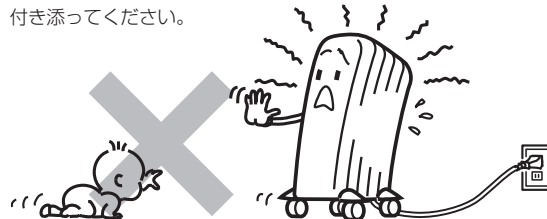
- 運転中および停止直後は、ラジエーター／フィン（放熱板）に触れないでください。

表面温度は、最高で約 80～90℃になりますので触れないでください。ヤケドをする恐れがあります。



- 小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添ってください。

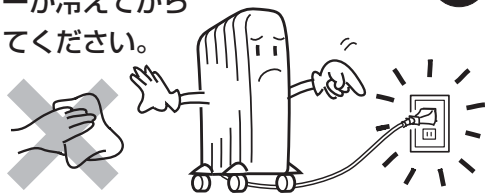
運転中および運転していないときもお子様がヒーターのそばにいるときは大人の方が付き添ってください。



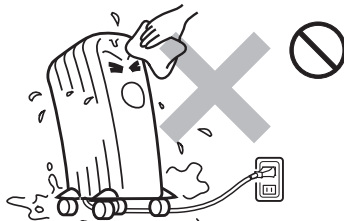
お手入れについて

警告

- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、ヒーターが冷えてから行なってください。



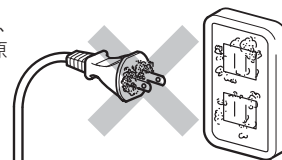
- 絶対に、水に浸したり、水洗いをしないでください。



注意

- ヒーターと壁や床のすき間、電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除いてください。

ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



- 洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは、使用しないでください。



知っておいていただきたいこと

定格電流について

本製品の定格電流は、15A（アンペア）です。ご家庭内で使用中の他の電気器具（複数）の定格電流との合計値が、契約電力（電気料金の請求書「基本契約欄」に00Aと記載）を超えていない

かどうか確認してください。なお、定格電流の算出方法は、以下の通りです。

$$\text{定格電流 (A)} = \frac{\text{消費電力 (W)}}{100(\text{V: 電圧})}$$

ブレーカーについて

ブレーカー（分電盤内にある回路遮断器）は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。契約電力が不足している

場合や、足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き（＝落ち）ます。※契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

電気代(目安)について

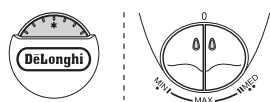
1時間当りの電気代（目安）は、暖房する部屋の諸条件（断熱および密閉性能など）により異なってきますが、おおよそ右記の通りです。（1kW/h＝22円として算出した場合）

電源を入れてから 30分から1時間 (電力レベル:最大1500W)	部屋が適温に達した後 サーモスタットで調節 (ヒーター稼働率:60%の場合)
約33円/時間	約20円/時間

ヒーターの上手な使い方

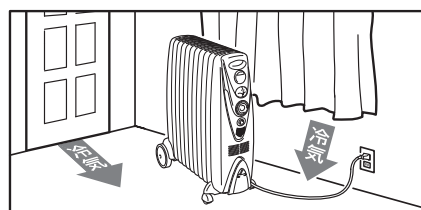
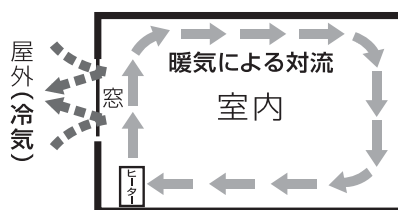
節電対策

サーモスタット（出力レベル調節） 電力切替えスイッチ（電力レベル調節）



サーモスタットと電力切替えスイッチの両方を上手に活用することで、ムダな暖め過ぎを防ぎます。お部屋が暖まったら、「出力レベル」および「電力レベル」を下げるようにしてください。

ダウンドラフト対策：効果的な設置場所



室内で、特に冷気のダウンドラフト（冷気の侵入）が発生しやすい場所＝窓の下や外気に触れている壁際などに設置してください。ヒーターの暖気による「エアカーテン」で、ダウンドラフトの発生を抑えます。また、窓に厚手のカーテンをしたり、ドアの開閉頻度を減らすなどの工夫をすることで、より効果的な暖房が得られます。

ヒント 比較的暖かい日にご使用になる場合は、電力切替えスイッチをMAX（1100W）ではなく、MED（600W）またはMIN（500W）に設定することにより、エネルギーの消費を抑えることができます。

各部の名称とはたらき

＜暖房のしくみ＞

ヒーター内部に密封した難燃性オイル（★）を下部にある棒状の電気ヒーターで温めます。温められたオイルはパネル内に循環し、L字型フィン（放熱板）で効率良く放熱、輻射熱と自然対流で室内を暖めます。★オイルの補充・交換は不要です。

サーモスタット ● （ダイヤル）

室温（＝適温）の設定に使用します。設定後はヒーターの運転を自動制御し、適温を一定に保ちます。ダイヤルを右に回すほど温度が高くなります。

パイロットランプ ● （スイッチ内）

電力切替えスイッチを押して電源を入れると点灯します。点灯時は電源が入っている（ON）状態を表わします。サーモスタットや電子タイマーの設定により消点灯を繰り返します。

電力切替えスイッチ ●

電源スイッチを兼ねたスイッチで、2つのスイッチを使って、電力レベルを500W（弱）・600W（中）・1100W（強）の3段階に切り替えることができます。

※ IHSヒーターを併用すると7段階になります。（下表参照）

電源 { 入 ▶ どちらかのスイッチ下部を押し込む
切 ▶ スwitch上部を両方とも押し込む

24時間電子タイマー ●

24時間プログラム式で、暖房の開始（ON）と停止（OFF）を自動的に行なう電子タイマーです。

※ 電源プラグをコンセントに差し込むと、わずかに時計音がします。

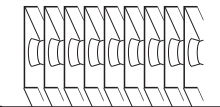
● 取っ手

ヒーターを移動する際はここに指をかけ、持ち上げずにゆっくりと引いてください。

● ラジエーター／フィン

ラジエーター水平断面図

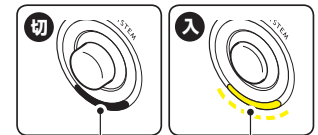
L字型フィン



● IHSヒーター (200W × 2)

本体の両側面に内蔵された電気ヒーターで、電源を入れたら直ちに暖房を始めます。消費電力は合計400W。

● IHSヒータースイッチ



パイロットランプ

● 後輪 (大)

● 電源コード

● 電源プラグ

● 前輪 (小)

● コード・ホルダー

ヒーターを使わない時／移動する時などに、電源コードを巻いておきます。

ヒーターを移動するときの注意

床材の質・種類によっては、床面が傷つく場合がありますので、ゆっくりと動かしてください。

付属品：台座×1、車軸×1、車輪（小）×2、車輪（大）×2、ア型ネジ×2、デロンギ・エコカバー

電力(W)は、7段階に設定できます

暖房運転	オイルラジエーター			IHSヒーター	ハイブリッド（オイルラジエーター＋IHSヒーター）		
電力(W)	500W	600W	1100W	400W	900W	1000W	1500W
電力切替えスイッチ I:500W II:600W	入 切	切 入	入 入	切 切	入 切	切 入	入 入
IHSヒーター スイッチ 400W	切 (ㄥ)			入 (—)			
サーモスタット 作動範囲(W)	0～500W	0～600W	0～1100W	0～400W	500～900W	0～1000W	500～1500W
凍結防止オート機能 *	●	●	●		●		
サーモスタット作動時の パイロットランプ	A	A	A	A	B	A	B

A → 全てのパイロットランプは消灯します。

B → MIN I（弱：500W）のパイロットランプのみ点灯します。

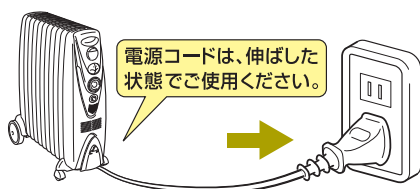
※ サーモスタット作動中は、電力切替えスイッチおよび IHS ヒータースイッチのパイロットランプは消点灯を繰り返します。

※ サーモスタットを＊位置にセットして暖房運転すると、室温が5℃以下にならないように自動制御します。

操作手順(Ⅰ)手動運転

暖房の開始／停止を電子タイマー（予約）に頼らず、その都度、手動（＝電力切替えスイッチの入／切）で行なう方法です。

①

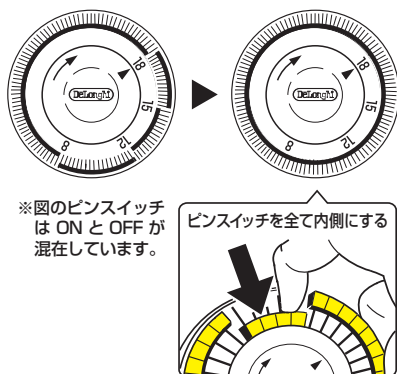


電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグを壁面コンセントに直接差し込みます。根元までしっかりと入れてください。また、電源コードは、コード・ホルダーから解き、伸ばした状態でご使用ください。

⓪延長コードは絶対に使用しないでください。

②



電子タイマーのピンスイッチを全て ON にする

暖房の開始／停止を電力切替えスイッチおよび IHS ヒータースイッチの入／切で行なう＝手動運転では、全てのピンスイッチ（96 個＝24 時間分）をタイマーの中心（内側＝ON の位置）に向けて押し込みます。

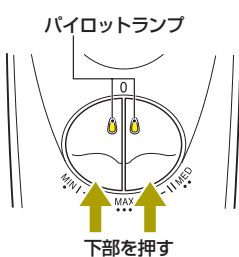
③



サーモスタットを最大にセットする

サーモスタットのダイヤルを右いっぱいにするまで回し、出力レベルを最大にセットします。

④



暖房運転を開始する（電源を入れる）

電力切替えスイッチ下部を押し込みます。電源が入るとパイロットランプが点灯し、暖房運転が始まります。運転当初は、スイッチを両方とも押し（※）、電力レベルを強（MAX）にしてください。

※ MIN I（弱：500W）＋MED II（中：600W）＝MAX（強：1100W）
早く暖めるために IHS ヒーター（合計 400W）を併用する（＝ハイブリッド暖房）と、最大電力が 1500W になります。（詳しくは 7 ページ参照）

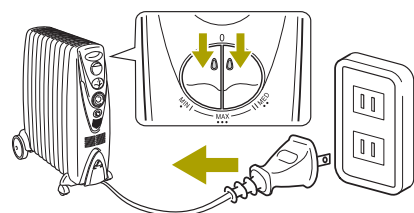
⑤



サーモスタットを設定する

お望みの温度（＝適温）になったら、サーモスタットのダイヤルをゆっくりと左（反時計回り）に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。これで適温が設定され、後は自動的に電源の ON/OFF を繰り返しながら適温を保ちます（→パイロットランプも消点灯を繰り返す）。

⑥



暖房運転を停止する（電源を切る）

電力切替えスイッチ上部を両方、IHS ヒータースイッチを押して電源を切り（→パイロットランプ消灯）、電源プラグをコンセントから抜きます。

⚠高温注意：ラジエーターは、停止後もしばらくは熱いので、触れないでください。

電子タイマーのしくみと使い方

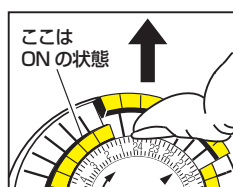
ON/OFF 型電子タイマー

暖房の開始 (ON) および停止 (OFF) の時刻を、15分刻みで設定できます。

24 時間プログラム式

一度設定すれば、毎日同じ時刻に一定の時間だけ暖房することができます。

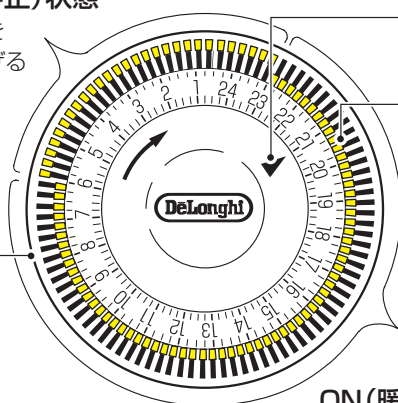
〈電子タイマー：各部の名称とはたらき〉



ダイヤル (ピンスイッチ、時刻目盛)
24 時間の時刻目盛 (1 目盛=15 分) が記されています。なお、ダイヤルは右 (時計回り) にしか回りませんので、ご注意ください。

※図のタイマーは、「現在の時刻は夜の 9 時 (21 時)、朝 6 時から夜の 11 時 (23 時) まで連続暖房する」場合を示しています。

OFF (暖房停止) 状態
ピンスイッチを
外側に引き上げる

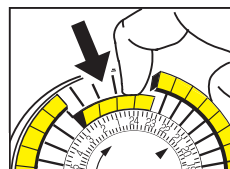


● **セットポイント**

▲印に、現在時刻を合わせます。

● **ピンスイッチ (全 96 個 = 24 時間分)**
内側に押し込んだ状態で ON (暖房する)、外側に引き上げた状態が OFF (暖房停止)。ピン 1 個 = 15 分。

ピンスイッチ
を中心 (内側)
に向けて押し
込む



ON (暖房する) 状態

ご注意：ピンスイッチを誤ってパネル方向に押すと、タイマーが脱落する場合があります。

暖房の開始／停止時刻のセット例

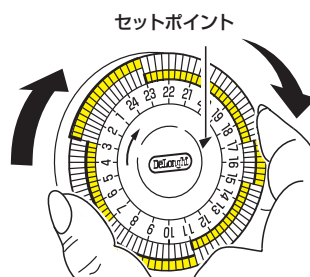
< 例 > 現在の時刻 (夕方 6 時) から朝 8 時までと、
昼 12 時から午後 3 時までの 2 回暖房をする

- ①電源プラグを壁面コンセントに差し込みます。
- ②タイマーのダイヤルを右 (時計回り) に回し、現在の時刻 (夕方 6 時) = 時刻目盛の「18」をセットポイントに合わせます。(図A)
- ③時刻目盛「18 ~ 8」「12 ~ 15」にあたるピンスイッチを内側 (ON 位置) に、それ以外の全てのピンスイッチを外側 (OFF 位置) に引き上げます。(図B)
- ④電力切替えスイッチ下部を押し込み、電源を入れます。②で合わせた時刻 (現在時刻) が③で設定した暖房 (ON) 時間内にあるので、すぐに暖房運転が始まります。

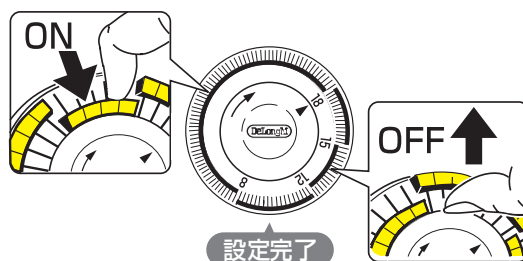
後は、以上の設定 (状態) を変更しない限り、毎日同じサイクルで暖房が行なわれます。

タイマー運転について詳しくは次ページを参照してください。

図A



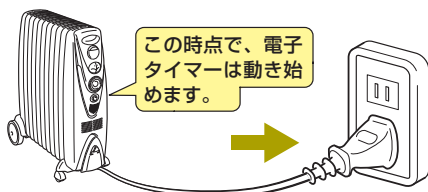
図B



操作手順(II) タイマー運転

暖房の開始 (ON) / 停止 (OFF) を電子タイマー (左ページ参照) で行なう方法です。

1

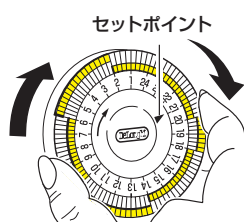


電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグを壁面コンセントに直接差し込みます。根元までしっかりと入れてください。また、電源コードは、コード・ホルダーから解き、伸ばした状態でご使用ください。

◎延長コードは絶対に使用しないでください。

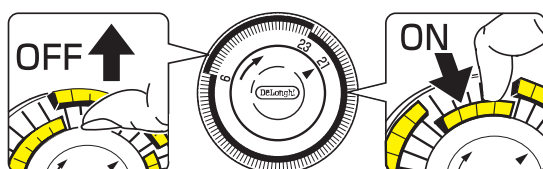
2



現在時刻を合わせる

タイマーのダイヤルを右 (時計回り) に回し、現在の時刻 (= ダイヤルの時刻目盛) をセットポイント (▲印) に合わせます。

3



ピンスイッチで暖房時間の設定をする

暖房する時刻 / 時間帯のピンスイッチはタイマーの内側に押し込み (= ON 状態)、それ以外のピンスイッチは外側に引き上げます (= OFF 状態)。

4

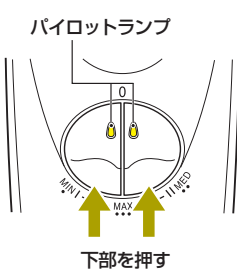


▶ 止るまで、右 (時計回り) に回してください。

サーモスタットを最大にセットする

サーモスタットのダイヤルを右いっぱい止るまで回し、出力レベルを最大にセットします。

5



★電源を入れておかないと、設定した時刻になっても暖房が始まりません。

下部を押す

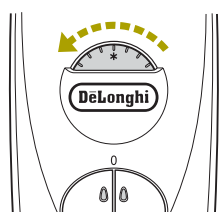
電源を入れる★ (暖房運転をする)

電力切替スイッチ下部を押し込みます。電源が入るとパイロットランプが点灯し、暖房運転が始まります。運転当初は、スイッチを両方とも押し (※)、電力レベルを強 (MAX) にしてください。

※ MIN I (弱: 500W) + MED II (中: 600W) = MAX (強: 1100W)

早く暖めるために IHS ヒーター (合計 400W) を併用する (= ハイブリッド暖房) と、最大電力が 1500W になります。 (詳しくは 7 ページ参照)

6



▶ 適温を上げるときは、右 (時計回り) に回し、下げるときは左 (反時計回り) に回します。

サーモスタットを設定する

お望みの温度 (= 適温) になったら、サーモスタットのダイヤルをゆっくりと左 (反時計回り) に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。これで適温が設定され、後は自動的に電源の ON/OFF を繰り返しながら適温を保ちます (→パイロットランプも消点灯を繰り返す)。

後は、以上の設定 (状態) を変更しない限り、毎日同じサイクルで暖房運転が行なわれます。

※ただし、お手入れ (13 ページ参照) など電源プラグをコンセントから抜いた場合は、再び現在時刻の設定が必要です。

故障かな？ 修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

使用中に異常が生じた場合は、直ちに電力切替えスイッチ上部を両方とも押しして電源を切り（＝運転を停止し）、以下の点をお調べください。なお、修理のご依頼は14ページ「アフターサービス」を参照してください。

症 状（状態）	予想される原因	対処のしかた
電力切替えスイッチ下部を押ししてもパイロットランプは点灯せず、ヒーターも暖かにならない	電源プラグが、コンセントに差し込まれていない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりとコンセントに差し込みます。
	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットのダイヤルを、パイロットランプが点灯するまで右（時計回り）に回します。お望みの温度（適温：体感温度）になったら、ダイヤルをゆっくりと左（反時計回り）に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。 サーモスタットのダイヤルを今よりさらに右に回します。
	その時刻に、タイマーのピンスイッチが外側（＝OFFの位置）にある	タイマーのセットポイント（▲印）にあるピンスイッチを内側（＝ONの位置）に押し込みます。
電力切替えスイッチ下部を押すと、パイロットランプは点灯しないがヒーターは暖かくなる	パイロットランプが故障している可能性あり	お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）にご連絡ください。
長時間使用しても、一度もパイロットランプが消えない	サーモスタットが故障している可能性あり	サーモスタットのダイヤルを、パイロットランプが消えるまで左（反時計回り）に回してみます。止るまで回してもパイロットランプが消えない場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）にご連絡ください。
使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる （目安：電力レベル最大（1500W）運転時で約40℃）	延長コードを使ったり、タコ足配線をしている	延長コードやタコ足配線を止め、電源プラグを定格15Aの壁面コンセントに直接差し込みます。
	電源プラグ（栓刃）を、根元までコンセントに差し込んでいない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりと差し込みます。不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。
	差し込み口（刃受）が2つあるコンセントで、両方の差し込み口を使用している	差し込み口（刃受）が2つある壁面コンセントを使用する際は、必ず、片方の差し込み口を空けておきます。
	コンセントがガタついたり、差し込み口（刃受）がゆるい	近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。
	電源プラグ／電源コードが傷付いたり、変形・破損している	お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）に、修理・交換を依頼してください。
	電源コードの上に物を置いたり、無理に曲げている	電気の流れる道が半断状態になると、ショートや発火の恐れがあるので、絶対に止めてください。
	電源コードをコード・ホルダーから解いていない。束ねた状態で使用している	余ったコードも、必ず伸ばした状態で使用してください。束ねると、熱の逃げ場を失って高温になり、発火の恐れがあります。
ヒーターは暖まるのに、タイマーが動かない	電源プラグやコンセントに、ゴミやホコリが付着している	定期的に、付着しているゴミやホコリを取り除いてください。
	タイマーが故障した可能性あり	お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）にご連絡ください。

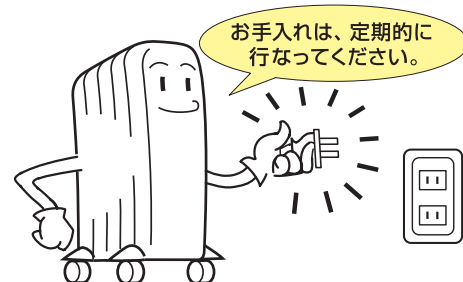
症 状 (状態)	予想される原因	対処のしかた
タイマーが正しく動作しない＝タイマーの外輪（ピンスイッチや時刻目盛のある部分）が回転せず、時計音もない	電源プラグをコンセントに差し込んでいない	電源プラグをコンセントから抜くと、タイマーが止ります。電源プラグを一度抜いた後にタイマーを使用する（＝タイマー運転をする）場合は、再度、現在時刻をセットポイント（▲印）に合わせてください。
タイマーが途中で止っている	電源プラグをコンセントから抜いた。または、タイマーが故障の可能性あり	タイマーが正常であれば、電源プラグをコンセントから抜いた時点で止り、コンセントに差し込むと作動します。しっかりと電源プラグを差し込み、30分経ってもタイマーがひと目盛も動かない場合は故障です。
タイマーに設定した暖房の開始(ON)時刻になっても、暖房が始まらない	電力切替えスイッチの電源が入っていない	電力切替えスイッチ下部を押し、電源を入れてください。（10ページの⑤参照）
	ピンスイッチが外側（＝OFFの位置）にある	暖房したい時間分のピンスイッチ（1個＝15分）を、内側（＝ONの位置）に押し込んでください。
	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットの出力レベルが部屋の温度より低い場合は、自動的に暖房運転が止ります。出力レベルを上げるには、 <u>ダイヤルを右（時計回り）に回してください。</u> （10ページの⑥参照）
タイマーに設定した暖房の開始／停止時刻と、実際の時刻に誤差がある	実際の時刻が、0分／15分／30分／45分以外のときに、現在時刻を合わせた	タイマーの動作およびピンスイッチや時刻目盛は15分刻みなので、実際の時刻が○時／○時15分／○時30分／○時45分のときに、現在時刻をセットポイントに合わせてください。本タイマーの時間誤差は、1ヶ月で±約30秒です。
部屋が暖まらない ※暖房する部屋の諸条件(断熱材や位置など)によって異なります	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットのダイヤルを右（時計回り）に止るまで回し、出力レベルを最大にしてください。
	電力切替えスイッチを1つしか押していない	電力切替えスイッチを両方とも押してMAXにし、電力レベルを最大にしてください。
	ヒーターを、ドア（出入口）付近に置いて使用している	ヒーターの暖気が逃げてしまうので、ドア（出入口）から離れた場所に置いて使用してください。また、窓近くで発生するダウンドラフト（冷気の侵入）を防ぐには、窓下付近に置いて使用するのが効果的です。
	ヒーターのラジエーター内部にあるオイルが、まだ暖まっていない	オイルが暖まるのに約30分～1時間かかるため、事前に電源を入れておいてください。部屋を暖めたい1時間前に暖房運転が始まるようタイマーを設定しておくとう便利です。
内部のオイルが漏れ出している	偶発的な不具合	オイルは難燃性であり発火に至ることはなく、また皮膚に触れても人体に重大な危険を生じさせるものではありませんが、万一オイルが漏出した場合は次のとおりにお取り扱いください。 電力切替えスイッチ上部を両方押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、漏れ出したオイルを新聞紙などで拭き取ってください。必要に応じて窓を開けるなどして換気を行ってください。また、オイルが皮膚に付着した場合はぬるま湯と石鹸で洗浄してください。その後、弊社サービスセンター（裏表紙参照）にご連絡ください。

お手入れ／保管のしかた

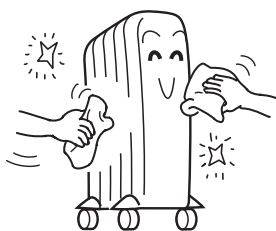
 お手入れや保管をする場合には、必ず事前に電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行なってください。

 水洗いできません。また、洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しないでください。

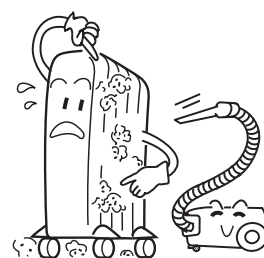
 保管する際は、必ず事前にお手入れをし、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かないでください。



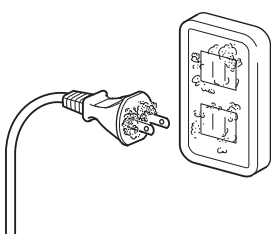
● 本体は乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。



● 本体および壁と床とのすき間に溜まっているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



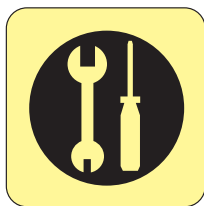
● 壁面コンセント(刃受)および電源プラグ(栓刃)に付着しているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



● 収納／保管する際は、付属のデロンギ・エコカバーを使用してホコリなどを防ぎ、乾燥した場所に置いてください。

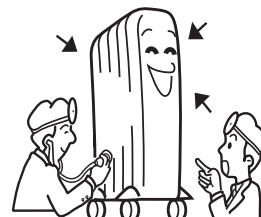


真心点検について



長年ご使用のヒーターは、点検をお勧めします。

保証期間（3年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をお勧めします。点検の依頼および料金等につきましては、弊社サービスセンター（裏表紙参照）までお問い合わせください。



これは故障ではありません

初期使用時の臭いについて

最初は、新製品特有の臭いを感じることがあります。これは、本体の耐熱塗装が熱になじむまでのことで、機能や安全性に問題はありません。数日ご使用いただきますと、臭いは次第におさまります。

パチッパチッと音がする

電源を入れると、しばらく、ヒーター内部で天ばらを揚げる様な音がする場合があります。これは、外気との温度差によって結露が生じ、熱くなったオイルに落ちたときのものです。異常ではありません。

パネル内の青白い光

周囲が暗いと、サーモスタットや電子タイマーのある操作パネル内部に青白い光が見えることがあります。これはサーモスタットや電子タイマーが、自動的に電源を ON / OFF する際のもので、故障ではありません。

デロンギ・エコカバーの使い方

1) ホコリよけのカバーとして：シーズンオフには、収納／保管用カバーとしてご利用ください。

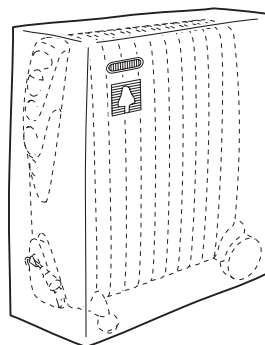
2) ご不用時／回収（再資源化）ご依頼時の梱包材として：デロンギヒーターに使用しているオイルには、環境に有害な有機塩素化合物・重金属が含まれておりません。しかし、自治体によっては、ご不用になったオイルヒーターを引き取らない場合があります。



その際は、下記の要領に従い、弊社サービスセンター（裏表紙参照）までお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について ▶ 再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担（元払い）となりますので、予めご了承ください。

梱包について ▶ ご不用になったデロンギヒーターは、付属のデロンギ・エコカバーに包んでお送りください。なお、デロンギ・エコカバー以外のものでも梱包／返送される場合は、再資源化の費用が有料になることがあります。また、修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。



※デロンギ・エコカバーは、無漂白の綿100%で出来ています。

この製品は J-Moss グリーンマーク対応製品です。

J-Moss とは、「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示」を規定した JIS 規格 (JIS C 0950) です。

この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル (PBB)、ポリブロモジフェニルエーテル (PBDE) の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



J-Moss グリーンマーク

アフターサービス

●使用中に異常（★）が生じた場合は、直ちに電力切替スイッチで電源を切り（＝運転停止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、11～12 ページ「故障かな？」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）にご相談ください。

＜★以下のような場合には、点検および修理が必要です＞

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・操作パネルや放熱板に、水やジュース（液体）などをこぼした
- ・本体に、強い衝撃を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

●万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に①お求めの時期 ②製品名称と型式番号③故障の状況——を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※宅配便等を利用して弊社サービスセンター（裏表紙参照）に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを同封くださるようお願いいたします。

●保証期間中（3 年）は、保証書に記載されているものについては無償で修理いたします。ただし、使用上の注意を無視しての故障や規格外に改造したものなどは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有償で修理いたします。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までお問い合わせください。

仕様

製品名称	デロンギヒーター [ハイブリッド型] L字型フィン 24 時間電子タイマー付	
型式番号／放熱板の数	HG010915E ／ 9 枚	
適用畳数	4 ～ 10 畳	
定格	電圧／周波数	交流 100V ／ 50/60Hz
	消費電力	400 ・ 500 ・ 600 ・ 1100 ・ 1500W
外形寸法／質量(※)	長さ 59.5 × 幅 24.5 × 高さ 64.5cm ／ 16.5kg	
タイマー	24 時間 ON/OFF 型電子タイマー	
安全装置	転倒時自動電源遮断装置・復帰型安全ヒューズ	
電源コードの長さ	2.3m	
付属品	台座×1、車軸×1、車輪(小)×2、車輪(大)×2、ㇿ型ネジ×2、デロンギ・エコカバー	

※外形寸法および質量は、車輪を取り付けた状態での数値です。

デロンギ・ジャパン サービスセンター (受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30 ～ 18:00)

コールセンター

修理について **Tel.0120-804-280**
Tel.0120-692-885 ／ **Fax.045-450-3291**
 お問い合わせ **Tel.0120-064-300**
Tel.0120-692-880

- 横浜：〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-9 安田倉庫(株)内 4 号ビル
 ●大阪：〒 564-0044 大阪府吹田市南金田 2-21-25

ホームページでのお問い合わせ (URL) ——— **<http://www.delonghi.co.jp>**

De'Longhi Forum

イタリアのライフスタイル情報満載! デロンギフォーラム無料会員募集中!

詳しくは **<http://www.delonghiforum.jp>**



デロンギ・ジャパン株式会社

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel. 03-5256-6321 (代)

